



令和3年度 清水小学校だより

令和3年9月1日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子

前期後半 スタート！



学校の主役である子どもたちが元気に戻ってきました。とびっきりの夏学習の足跡を、7日から9日まで展示します。

工夫された作品、こつこつと続けた研究等を見ますと、昨年度同様、様々な制限はありましたが、それぞれにこれまでの生活が充実していたんだと嬉しく思います。

これもひとえに、安全への気配りをし、温かく見守っていただいたり、家族の一員として役割を与えてくださったり、豊かな体験をさせていただいたご家庭・地域の皆様のおかげであると感謝いたします。

さて、これからは実りの秋を迎え、勉強や運動によい季節となります。私たちも目指す児童像「しっかり考える子」「自らよく行う子」「すこやかな子」を合言葉に、全力で取り組んで参ります。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

せきちゅうにひありうたずんぼはっせず

石中有火在 不打不発

以前あるお寺で、禅問答のお話を住職様とした時のことです。悟りを開いていない私には、禅問答はなかなかわかりにくいものですが、その時話された「石中有火在 不打不発」というのはわかりやすい言葉でした。人間には隠された才能がたくさんあります。その才能を引き出すためには、打つ（教育する）という作用がないとだめですよということを言っているそうです。

私は、この問答を『型を作り、型を修めて、型を出す。』という言葉と重ね合わせて聞いておりました。

「型を作り」とは、基礎基本を鍛え、独り立ち、できるようにすることです。

「型を修め」とは、一定の学問や、技術をマスターすることです。

そして「型を出す」は、教えから抜けて、自立し、自分なりの方法、考え方、手法を確立することです。

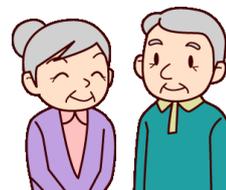
日々の学習活動には小学校の段階でも「型を作り、型を修めて、型を出す。」の3段階をこなすこともあります。総じて小学校の学習活動は「型を作る」段階です。すなわち、だんだん成長し、大人になって自立するのに必要な「生きる力」の基礎を作り上げ、定着させる段階です。子どもたちは一人一人、他にない才（才能）をもっています。でも、「不打不発」です。教育という社会化の作用、「型を作る」という教育・訓育教育がないと能力は備わってきません。学校や家庭・地域社会は子どもたちに対して打つ（教育）という作用を社会的に担っています。特に学校は「学」について、家庭や地域社会は「人間としてのありよう」について打つ役目をもっていると言えるでしょう。

実り多き今からの時季、しっかりと子どもの「型を作る」ための、もっている才能を出すための打つ役目をお互いに果たしてまいりましょう。

[裏面もあります。ご覧ください。]

9月の主な行事予定

- 1日(水) 前期後半授業開始日 全校朝会 大掃除 委員会活動(5・6年)
- 5日(日) 東京パラ五輪閉会式
- 7日(火) 夏休み作品展(9日まで 体育館)
- 17日(金) 野外体験学習(5年:世知原少年自然の家)
- 20日(月) **敬老の日**
- 23日(木) **秋分の日**
- 29日(水) 代表委員会



○ あくまでも、現時点での予定です。変更がある場合は、お知らせします。

残念ですが…

すでにご承知のように、長崎県では県独自の「緊急事態宣言」が発令されました。また佐世保市も8月20日付で「レベル4」から「レベル5(市内感染蔓延期)」へと引き上げられました。新型コロナウイルス感染状況から目が離せない状態が続いています。

それに伴い、学校生活にも影響が出てきています。

9月22日(水)に予定していました「清水小スマイルフェスタ」は中止としました。ゲストティーチャーの方々も張り切って準備をされていました。そして、子どもたちも楽しみにしていたのですが、とても残念です。

また、5年生の宿泊体験学習も、1日の日帰り活動に変更しせざるを得ませんでした。

いろいろな面で、例年通りと叫ぶことが多く、子どもたちにとってもかわいそうではありますが、こういう状況下では仕方ありません。なにとぞご理解・ご了承ください。



うれしいですね、がんばっている子どもたち

— 子どもたちの校外での活躍 — ※ 敬称略

「歯と口の健康週間図画・ポスター展」

長崎県歯科技工士会佐世保支部長賞 ○宅 ○(1年2組)

「全国たなばた競書大会」 観峰賞 □世□□(6年1組)

銀賞 □亜□□(3年1組)

※ このようなご時世で、様々な大会等が中止・延期になっていますが、受賞等ありましたら賞状等持たせてください。紹介させていただきます。